

富中だより



令和8年度合言葉

行きたくなる 居場所がある 成長できる学校

地域と共によりよい学校づくりを目指して

校長 太田 諭

6月も下旬を迎え、気づけば1学期も残り1ヶ月となりました。昨年のこの時期には暑さの感じられる日が多くあり、学校のスポットクーラーがフル稼働していました。しかし今年はなかなか気温が上がらず、スポットクーラーはまだ出番を待っています。とはいえ、いつ本格的な暑さが訪れるかわかりません。生徒達には、急な気温の変化に対応できるよう、十分な睡眠や食事等の体調管理を行い、来たるべき夏を乗り切ってほしいと思います。

学校では、3年生の修学旅行に続き、2年生の宿泊研修、1年生の防災遠足が終了しました。また、24日に第1回定期テストを終え、1年生は初めての定期テストに臨みました。現在は7月10日（金）に予定されている、生徒自らが創りあげる「第6回体育祭」に向けた準備活動が進んでいます。体育祭運営のために自ら名乗りを上げた有志生徒による実行委員会が活動中です。保護者の皆様、体育祭にも足を運んでいただけると幸いです。

現在、中体連大会が各種目で実施され、本校生徒も大会に臨んでいます。20日に始まった野球・卓球・陸上競技に続き、男女バスケットボール・サッカー・バドミントン・バレーボールが始まります。どの競技においても生徒が日頃の練習の成果を最大限発揮し、納得のいく大会となることを願っています。

釧路町では部活動の地域展開が進み、サッカーと女子バスケットボールは既に「釧路町地域クラブ」として中体連に参加しています。他の競技も、「富原中学校」として中体連に参加するのは来年の令和9年度が最後となります。これまで各部が積み上げてきた歴史や伝統を考えると寂しさを覚えますが、生徒数の減少や競技の多様化などにより、持続可能な競技の在り方が大きな課題となっていることも事実です。学校として、今後も地域展開へのスムーズな移行に向けて取り組んでまいります。

さて、去る6月17日（水）には、富原地区学校運営協議会の主催するあいさつ運動「あい（い）・あい（eye）・あいさつ」が行われました。この取組も3年目を迎え、恒例となった感があります。当日は曇り空ではありませんでしたが、学校運営協議委員の皆様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様、釧

路町教育委員会の皆様に参加いただき、登校する小中学生と挨拶を交わしました。今年度から徒歩通学を推奨する週間「歩こうウィーク」と連動した日程とし、富原中玄関前にもあいさつ運動の拠点を追加しました。そこでは生徒会書記局を中心に登校する生徒と挨拶を行い、昨年以上に挨拶の輪が広がりました。実施後に行った生徒アンケートでは、8割以上の生徒から「よい取組なので継続してほしい」との回答がありました。当日参加くださった皆様、本当にありがとうございました。今後も富原地区に気持ちのよい挨拶の輪がどんどん広がることを期待しています。なお、2回目のあいさつ運動は9月16日（水）を予定しています。保護者の皆様・地域の皆様には次回も参加いただけると幸いです。

本校では、学校教育目標の具現化、生徒のよりよい成長のため、教育活動についても常に進化・深化することを目指し、工夫・改善を試みています。7月には、第1回学校評価を実施しますので、保護者の皆様におかれましては回答のご協力をお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、今後とも本校の教育活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

+++++

地域と共にある学校づくり

育成協×コミスク

セチリ太地区青少年健全育成運動推進協議会（育成協）の『ふれあい花壇造成作業』（5/31）と富原地区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の『あいさつ運動』（6/17）がそれぞれ行われました。

未来を担う子どもたちを、学校と地域が連携して育む取り組みとして、多くの保護者・地域の皆様に参加していただきました。ありがとうございました。今後ともご協力をお願いいたします。

